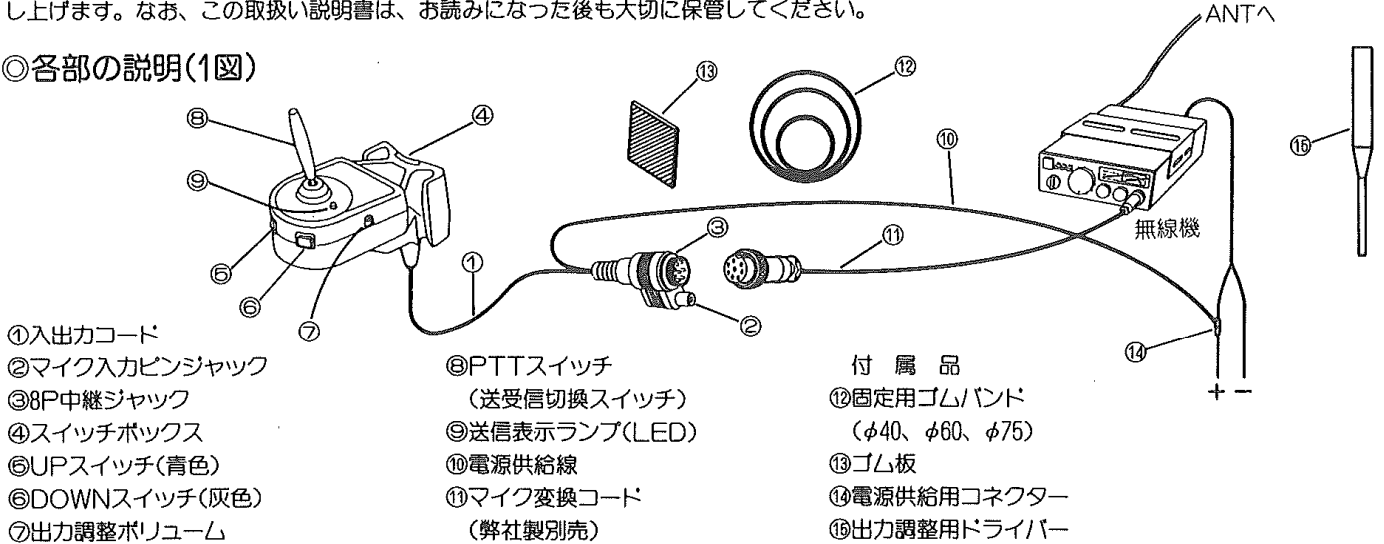


スイッチボックスユニット

取扱説明書

このたびは、エス・イー・シーのモービルマイク用スイッチボックスユニットSWU-1をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用に際しましては、本機の性能を十分に発揮させていただく為にこの説明書をよくお読みいただき、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱い説明書は、お読みになった後も大切に保管してください。

◎各部の説明(1図)



- ① 入出力コード
- ② マイク入力ピンジャック
- ③ 8P中継ジャック
- ④ スwitchボックス
- ⑤ UPスイッチ(青色)
- ⑥ DOWNスイッチ(灰色)
- ⑦ 出力調整ボリューム

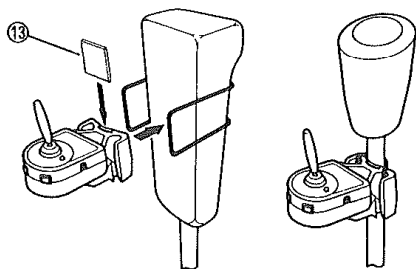
- ⑧ PTTスイッチ
(送受信切換スイッチ)
- ⑨ 送信表示ランプ(LED)
- ⑩ 電源供給線
- ⑪ マイク変換コード
(弊社製別売)

- 付属品
- ⑫ 固定用ゴムバンド
(φ40、φ60、φ75)
 - ⑬ ゴム板
 - ⑭ 電源供給用コネクター
 - ⑮ 出力調整用ドライバー

◎取付方法および接続

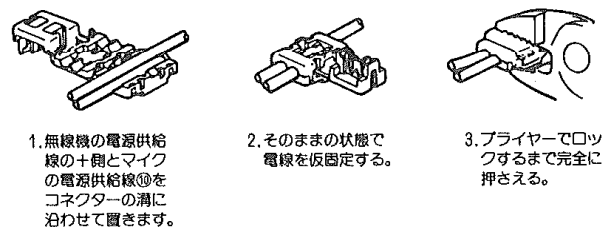
- スwitchボックス④は、付属の固定用ゴムバンド⑫でチェンジレバーに取り付けてください。不安定な場合は、付属のゴム板⑬を挟み固定してください。(2図参照)
- スwitchボックス④から出ている入出力コード①のマイク入力ピンジャック②に、弊社製別売フレキシブルマイクロホンユニットなどから出ているピンプラグ付マイクコードを差し込んでください。
- ご使用の無線機に適合したマイク変換コード(弊社製別売)⑪を、入出力コード①の8P中継ジャック③と無線機の間に接続してください。(マイク変換コードには方向性がありますのでご確認の上、間違わないように接続してください。)
- 電源供給線⑩は、付属の電源供給コネクター⑭で無線機の電源の+側に接続してください。(3図参照)
※無線機のマイク端子に、電源(DC5V~9V・50mA)が供給されている場合は、電源供給型マイク変換コード“Dシリーズ”(弊社製別売)で接続すると、電源供給線⑩の配線が不要になります。(詳しくは、弊社製マイク変換コードおよびご使用の無線機の取扱い説明書をお読みください。)

◎スwitchボックス④の取り付け方法(2図)



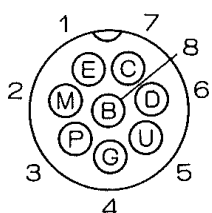
- 付属のゴムバンド⑫でチェンジレバーとスswitchボックスとを、しっかりとめてください。
- 取り付けが不安定な場合、付属のゴム板⑬を間に入れてください。

◎電源供給用コネクター⑭の接続方法(3図)



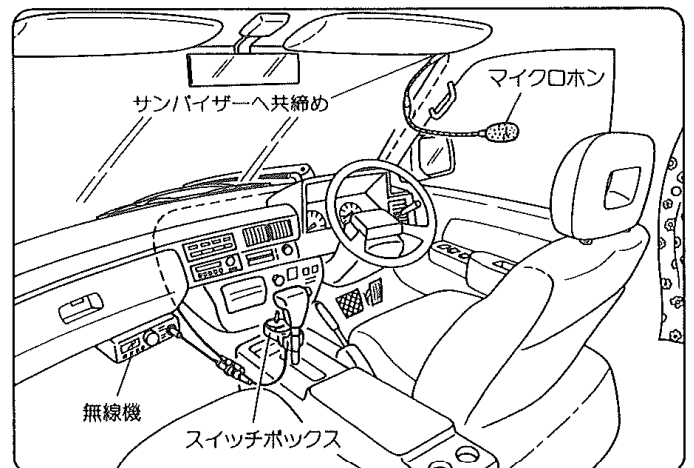
1. 無線機の電源供給線の+側とマイクの電源供給線⑩をコネクターの溝に沿わせて置きます。
2. そのままの状態 で電線を仮固定する。
3. プライヤーでロックするまで完全に押さえる。

◎8ピンアドニス配列(4図)



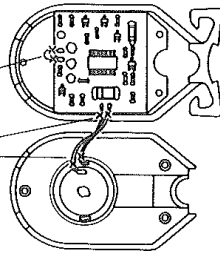
- ① E: アース(マイク信号用)……シールド
- ② M: マイク信号……黄
- ③ P: PTT(プレストーク)……赤
- ④ G: アース(PTT用)……紫もしくは青
- ⑤ U: UP(アップ)……緑
- ⑥ D: DOWN(ダウン)……白
- ⑦ C: U/Dコモン……橙
- ⑧ B: DC給電(+極)……灰

◎取付例(5図)

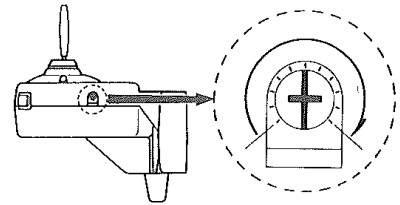


●本体裏面のネジを3本外し、中の基板を下記のように変更してください。
無変調防止回路解除の場合はジャンパーリードを切断してください。

アラーム回路解除の場合は黄色のリード線を切断してください。



(6図)



(7図)

◎ご使用方法

- PTTスイッチ◎をT側に倒すと送信状態になり、送信表示ランプ◎が点灯し送信状態に切り変わったことを知らせます。また、R側に倒すと受信状態になり、送信表示ランプ◎は消灯します。
- UPスイッチ◎およびDOWNスイッチ◎は、無線機付属のマイクのUP/DOWNスイッチと同じ動作をします。(詳しくは、無線機の取扱説明書をお読みください。)
- 出力レベルは適正なレベルに調整されていますが、ご使用の無線機により多少異なる事や、マイクロホンによって、変調が深すぎたりする場合には下記の要領にて調整してください。
- 出力調整ボリューム⑦を右(時計回り)に回すと出力は増加し、左(反時計回り)に回すと減少します。ローカル局にモニターしてもらいながら、7図に表示してある回転範囲内を付属の出力調整用ドライバー⑩で静かに回して調整してください。(左右に約100度しか回りません。)回しすぎると、破損する恐れがありますので十分注意してください。なお、7図の位置でほぼ中央になります。

◎無変調防止回路解除について

PTTスイッチ◎が不用意に作動した場合や通常の交信においても、送信状態が2分半程度続けばアラーム回路が作動し警報音が約30秒間鳴った後自動的に受信状態になります。ただし、アラームは鳴り続け送信表示ランプ◎は点灯したままです。無変調防止回路解除の方法は6図を参照してください。

◎回り込み対策について

ハイパワーで送信した場合変調が異常になったりバリバリという音が混入したり、その他の雑音(マイクに直接入るエンジン音ではありません。)が増すことがあります。その場合アンテナと同軸ケーブルとの整合が悪く、定在波がマイクコードに乗ることが考えられます。従って、マイクコードの引き回し方を変えると良くなる場合があります。特に同軸ケーブルと平行にしないようにしてください。また、アンテナと送信機とのSWRチェックしてみてください。

ご注意とお願い

- 本体には強い衝撃を与えないでください。
- このスイッチボックスユニットの電源電圧はDC12V~15Vです。直接DC-24Vのバッテリーで御使用になると故障の原因になりますのでDC-DCコンバーター(DC24V→DC12V)等をご使用になるか、無線機と同じ電源をご使用ください。
- 弊社製以外のマイク変換コードやフレキシブルマイクロホンを使用すると正しく動作しない場合がありますので、必ず弊社製を使用してください。弊社製以外のマイク変換コードやフレキシブルマイクロホンのご使用によるトラブル、故障等については一切の責任は負いませんのでご了承ください。
- 直射日光の当たる場所や高温になる場所での使用および放置は、変形・変質を招き本機に悪い影響を与えますので工夫して高温を避けるようにしてください。
- 本体内部は調整されていますので、不要な改造・調整はしないでください。
- 性能改善の為、予告なく仕様及びデザイン等を変更する場合があります。

【アフターサービスについて】

お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬上の事故などに伴い、ご不審な箇所、または破損などのトラブルがありましたら、お早めにお買い上げいただきました販売店、又は弊社にお申し付けくださいますようお願い申し上げます。

〈SWU-1仕様〉

- 入出力コード.....70cm
(8P中継ジャック・ピンジャック付)
 - 適合出力インピーダンス.....500Ω~100kΩ
 - 電源電圧
電源供給線(赤色線)にて供給の場合.....DC12~15V
マイク変換コード(Dシリーズ)にて供給の場合.....DC5~9V
 - 出力電圧.....0~50mV(rms)
 - スイッチボックス部形状(突起部含まず).....44(H)×38(W)×67(D)mm
 - 重量.....100g
- (付 属 品)
- 固定ゴムバンド.....(φ40, φ60, φ75) 各1ヶ
 - 電源供給用コネクター(赤).....1ヶ
 - ゴム板.....1枚
 - 出力調整用ドライバー.....1本

SEC 株式会社 エス・イー・シー

〒576-0017 大阪府交野市星田北1丁目38番15号

TEL.(072) 893-3111 FAX.(072) 891-2240